

アントラサイクリン系抗がん剤の血管外漏出とその対処法

No. 1

血管外漏出とは

静脈内へ投与された薬剤が、血管外に漏れ出て周りの組織に広がることを、「血管外漏出」と呼びます。血管外漏出によって周りの組織にさまざまな障害が起こり、皮膚の壊死や潰瘍になる場合もあります。

血管外漏出後に起こる可能性がある症状

アントラサイクリン系抗がん剤*では、漏れ出した薬剤が少量でも重い皮膚障害を起こすことがあります。また、漏れ出した直後は症状が軽くても、時間が経つと重い症状に進行することもあるので、注意が必要です。

血管外漏出が起こると、点滴の針の周りが赤くはれ(写真1)、時間が経つにつれて水ぶくれ(写真2)や皮膚がただれることもあります。

さらに皮膚の壊死や潰瘍に進行すると、時間とともに赤く盛り上がったり、つっぱり感が出たり、部位によっては神経を圧迫したり、関節部の動きを悪くしたりすることもあります。

* 代表的なアントラサイクリン系抗がん剤:

ダウノルビシン塩酸塩、ドキシソルビシン塩酸塩、エピルビシン塩酸塩、イダルビシン塩酸塩、アムルビシン塩酸塩



写真1



写真2

血管外漏出後の対処法

アントラサイクリン系抗がん剤の血管外漏出がわかったときには、速やかに対応することが大切です。症状に合わせて以下のような処置を行うことがあります。

- 抗がん剤の点滴の中止
- 漏れ出した抗がん剤の吸引
- 解毒薬：サビーン® (デクスラゾキサン) の点滴静注
- 患部の冷却
- 外科的治療 (壊死部分の切除や皮膚移植など)

監修

東北大学病院 がんセンター センター長
石岡 千加史 先生

サビーン[®] (デクスラゾキサン) について

サビーン[®] の効果について

アントラサイクリン系抗がん剤が血管外に漏れ出たときに起こる、皮膚のはれ、水ぶくれ、壊死や潰瘍への進行を抑えることで、壊死部分の切除や皮膚移植など外科的治療への移行を抑える効果が期待できます。

サビーン[®] の使用方法について

- 1日1回、1～2時間かけて点滴で静脈内投与*されます。
- 3日連続で投与されます。
- 投与量は、患者さんの身長と体重、腎臓の働きに合わせて医師が決めます。

* 基本的には漏出部位の反対側から投与されます

サビーン[®] が使用されるとき気をつけていただきたいこと

- 過去にこのお薬を使用して過敏な反応を経験したことがある方は、医師、看護師、または薬剤師にお申し出ください。
- このお薬の使用後や使用後に、白血球、血小板やヘモグロビンなどが減少(骨髄抑制)して、発熱、出血、動悸や息切れなどの症状があらわれることがあります。このような症状が出た場合はご相談ください。
- このお薬の主な副作用として、吐き気や嘔吐、発熱、注射部位の痛みなどの症状が出る場合があります。いつもと違うと感ずることがあれば、すぐにご相談ください。
- 本人あるいはパートナーがこのお薬を使用した場合、3ヵ月間は妊娠しないように避妊をしてください。この期間に妊娠がわかった場合はご相談ください。
- このお薬を使用している間は、生ワクチンの接種は受けないでください。

治療にかかる費用について

サビーン[®] の薬剤費と自己負担額

体表面積 (m ²)	総使用量 (1日目-2日目-3日目)	医療費	お薬の自己負担額 (3割負担の場合)
1.0以下	5瓶 (2瓶-2瓶-1瓶)	232,185円	69,660円
1.0より大きく 1.5以下	8瓶 (3瓶-3瓶-2瓶)	371,496円	111,450円
1.5より大きい	10瓶 (4瓶-4瓶-2瓶)	464,370円	139,310円

医療費
267,000円

高額療養費
支給対象
※

※ ひと月あたりの医療費の合計が一定の額(上限額)を超えた場合、**高額療養費制度**を利用して、患者さん自身が負担する医療費を抑えることができます。医療費を負担する上限額は、患者さんの年齢や所得によって異なります。

たとえば、**年齢が69歳以下で、所得区分が「年収約370～約770万円」の方の場合、医療費が267,000円(自己負担額では80,100円)を超えると、高額療養費の支給対象になります。**

くわしくは、病院の相談窓口や会計窓口でおたずねください。

- ・ サビーン[®] 1瓶のお薬代は46,437円です。(2019年10月現在)
- ・ 表中の費用はサビーン[®]のお薬代のみ費用です。このほかに治療費として診療費、検査費、サビーン以外のお薬の費用などが加わります。